

医療崩壊から再生へ 患者の視点で考える

日本の医療の大きな問題点のひとつに本来予防可能である疾患が長期間放置されていたことがあります。今回の新型インフルエンザ問題でもワクチン供給体制の不備が明らかになりましたが、ワクチン政策をめぐる混乱が、がん治療や救急医療などの地域医療を疲弊させる要因にもなっています。

わたしたちは患者(市民)と医療者との対話が医療再生を実現させるカギであると考えます。今回は導入が現実視されているヒトパピロウイルスワクチンなどワクチン政策一般、緊急課題としての新型インフルエンザワクチン供給体制について今後の展望と課題を議論します。更に、がん医療における患者と医療者との対話を企画し、医療再生への道を新政権の医療政策を実質的に担う厚生労働大臣政務官でありベテラン消化器外科医でもある足立信也さんとの討論を通じて模索したいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

「医療構想・千葉」代表 竜 崇正

テーマ 第1部 再生への提案

- 新型インフルエンザは医療現場に何をもたらしたか？

黒木 春郎 (外房こどもクリニック)

- 子宮頸がんはワクチンにより予防可能である

平井 康夫 (癌研有明病院婦人科)

- ワクチンで日本の子どもを守ろうー世界のワクチンの常識から大きく外れた

ワクチン後進国日本を憂えて 蘭部 友良 (日本赤十字医療センター小児科)

第2部 パネル討論「どうする?! 患者の望む医療、患者を守る医療」

- 「千葉県がん患者大集合2009」を受けて

パネラー 足立 信也(厚生労働大臣政務官・参議院議員・医学博士) / 齋藤 とし子(あけぼの千葉代表) / 竜 崇正(前千葉県がんセンター長・医療構想千葉代表) 他

日時 : 平成21年10月25日(日)

会場 : 了徳寺大学 2階203教室 浦安市明海5-8-1 TEL: 047-382-2111(代)

(<http://www.ryotokuji-u.ac.jp/>)

開演 : 午前10時~12時半(開場: 午前9時30分) 終了後、13時~14時半懇親会

主催 : 医療構想・千葉 (<http://iryokoso-chiba.org>)

【連絡先】 TEL: 090-7270-4228 MAIL: info@iryokoso-chiba.org

定員 : 150名

シンポジウム参加費 : 1000円

懇親会参加費 : 2500円(ご希望の方は下記懇親会参加に○印をつけてください)

(フリガナ)
お名前

〔申込はFAX 047-402-3061 〕
ご所属

Tel.No.

FaxNo.

E-Mail

※懇親会への参加もご希望の方は、右記を○印で囲んでください。参加

○千葉県の医療についてお考えのこと、疑問に思っている点など自由にお書き下さい!